＊＊ 2008 年 05 月 26 日改訂　（第 4 版）
＊ 2006 年 12 月 01 日改訂

承認番号　16200BZZ01607000

機械器具 47 注射針及び穿刺針
高度管理医療機器　麻酔用滅菌済み穿刺針　70203003

絶 縁 電 極 ブロック針

再使用禁止

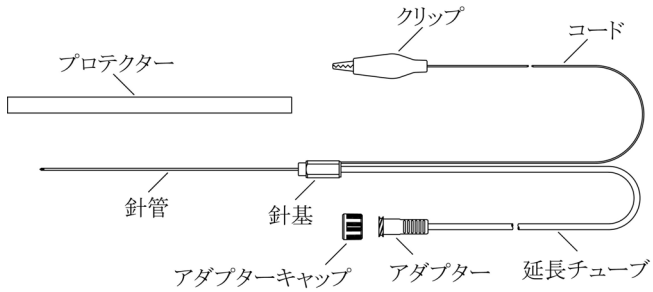
【禁忌・禁止】

・再使用禁止

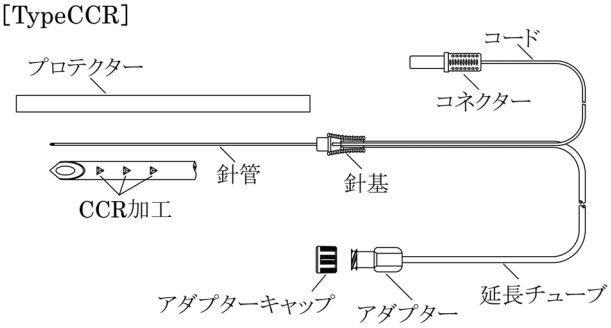
【形状・構造及び原理等】

本品は、神経ブロックをより確実にする為の筋攣縮を指標とした神経探索法に使用する。

＜構造図（代表図）＞



＊［TypeCCR］



＊＊・針管はステンレス製、コーティングはフッ素樹脂製、針基、延長チューブ及びアダプターは塩化ビニル製。

・該当する型式、サイズ等については、包装表示で確認すること。

【使用目的、効能又は効果】

＊＊ 経皮的神経ブロック手技のために用いる。

＊＊【品目仕様等】

・引抜強さは以下のとおり。

針管公称外径（mm）	最小引抜強さ
0.6mm 以上	29.4N（3kgf）
0.6mm 未満	19.6N（2kgf）

【操作方法又は使用方法等】

＊＊本品は滅菌済みであるので、そのまま直ちに 1 回限り使用できる。

手技に精通した医師の管理下で使用すること。

＊ 1) 本品を電気刺激装置に接続する。（接続方法は電気刺激装置の添付文書、又は、取扱説明書に従うこと）

＊ 2) プロテクターをまっすぐに引いて外す。

＊ 3) アダプターキャップを外し、局所麻酔液が充填されたシリンジをアダプターに接続する。その後、局所麻酔液を押し出し、延長チューブ及び針管内のエアーを除去する。

＊ 4) 刺入点の皮膚表面を消毒し、皮下に局所麻酔薬を注入する。

＊ 5) 針管を適切な部位に刺入し、針先を目標部位に誘導する。

＊ 6) 電気刺激による運動反応を確認後、局所麻酔薬を注入する。

＊ 7) 運動反応が徐々に弱くなるのを確認しながら、局所麻酔薬を適量注入する。

＊ 8) 手技終了後、針を抜去し、適切な処置を行う。

＜使用方法に関連する使用上の注意＞

＊ ・神経ブロック術は、神経損傷等の合併症を引き起こす可能性があるため、当該手技を習熟している医師が行うこと。

・予め併用する機器等に接続できることを確認すること。また、併用機器の操作方法等については、その添付文書を確認後、使用すること。

・予めゲージサイズや長さの確認を行うこと。

・針管及びアダプターの接続部には直接手を触れないこと。

・プロテクターを外す際は、針先が触れないように注意すること。
［刃先が変形し、穿刺性能が低下する場合がある。］

・穿刺の際は、神経損傷に十分に注意すること。

・コードに無理な力を加えないこと。
［コードが断線し、通電しない場合がある。］

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

・医薬品の添付文書を確認後、使用すること。

・脂溶性の医薬品では、ポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ（2-エチルヘキシル）が溶出する恐れがあるので、注意すること。

・包装が既に破損、汚損している場合や、製品に破損等の異常が認められる場合は使用しないこと。

・手技終了後、リキャップする必要がある場合には、誤刺に注意すること。

・使用直前に開封して使用すること。

＜その他の注意＞

・使用後は感染防止に配慮して安全な方法で処分すること。

・本品はエチレンオキサイドガス滅菌済み。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

・水ぬれ、直射日光、高温多湿を避け保管すること。

＜有効期間・使用の期限＞

・箱に記載している使用期限を参照のこと。（自己認証による）

【包 装】

10 セット／1 箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

＜製造販売業者＞
株式会社八光
長野県千曲市大字磯部 1490
TEL 026-275-0121

＊＊ ＜製造業者＞
株式会社八光

販売窓口： 東京都文京区本郷三丁目 42-6
TEL 03-5804-8500

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK
Trademark of American Soybean Association